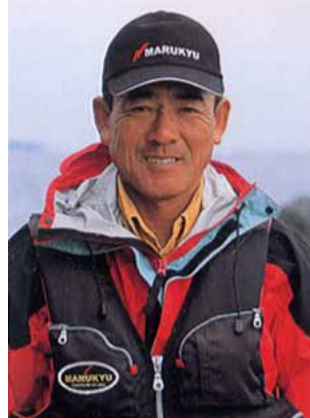


高岡氏のチヌ釣りスタイルは、どのような条件下でも軽い仕掛けを使うというもの。



私がチヌ釣りで大切に考えていることは、いかに違和感なく付けエサを食わせるかということ。そのため、浅場であっても深場であっても、私とはかく軽い仕掛けにこだわって釣りをするようにしています。同じようなスタ

イルの方も多いと思いますが、ウキ下3〜4ヒ口から始めて、付けエサが残るようであれば深くしていき、取られないようであれば浅くしていくというパターン。難しいところもあるんですが、これが私の釣りになります。



高岡 末男 たかおか すえお

1951年生まれ、滋賀県近江八幡市在住。チヌはもちろんグレ釣りにも精通しており、数々の大会を制しているトーナメント。MAXフィッシングチームの会長を務める。

軽い仕掛けで浅く深タナまで！

高岡末男氏の釣りスタイルは、チヌに違和感なく付けエサを食わせるため、あらゆるタナを軽い仕掛けで釣るというもの。この釣りをするために、氏はどのようなブレンドで臨んでいるのでしょうか。

春

春は水温にムラがあるため、チヌがどのあたりのタナで釣れてくるのか分りにくい季節です。4月頃なら、まだまだ水温も低いです。だからこの時期は、極端に食い渋ったら思い切った深く深くを攻めていき、逆に2匹、3匹と釣れてきたら、浅いタナを集中して釣るなどすればいいと思います。配合エサのブレンドパターンは、「チヌパワーG2」2袋に、「チヌパワームギ」2袋、それにオキアミを9kgという感じでいいでしょう。

この2つのエサの組み合わせは、実は私のお気に入りなんです。ていねいに練ってやることで非常にまとまりがよくなるので、コントロール性は抜群です。両方のエサに配合されたムギのヒラヒラとした沈下、ルーアー効果



配合エサとオキアミを混ぜるときも、高岡氏は手を抜きません。

となってチヌの興味もひいてくれるんです。

もう少し詳しく各エサのことを解説すると、「チヌパワーG2」は着水後にゆっくり拡散沈下する配合エサで、先ほど紹介したムギのほかに、練りエサ

春・秋のブレンドパターン(一日分)



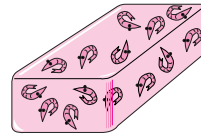
チヌパワーG2
2袋

+



チヌパワームギ
2袋

+



オキアミ
9kg

夏から秋にかけてはエサ取りに悩まされるシーンが多くなりますが、数が見込める時期でもあります。



夏も春と同じブレンドパターンでいいと思います。ただ、エサ取りが増え

夏

の粒や酵母、さなぎなども入っています。ですから、強い集魚力も発揮してくれます。
「チヌパワームギ」はその名の通り、チヌの好物である大粒のムギ、そしてコーンなどが配合されている配合エサです。大きい粒子が大量に入っているため、エサ取り対策にも有効な働きをしてくれそうです。

秋

秋は、春と同じ「チヌパワーG2」2袋+「チヌパワームギ」2袋+オキアミ9kgというブレンドパターンでいいでしょう。春ほど水温にバラツキがないので、事前の作戦も立てやすいと思います。落ち前のチヌはとにかく元気、気持ちよく暴れてくれます。強い引きを存分に楽しんでください。

なお、具体的なブレンドパターンは「練りエサ釣法チヌ」2袋+「チヌパワームギ」2袋+オキアミ9kg+12kgというもの。少し重さがあつて沈みの速い組み合わせとなり、チヌを一カ所に寄せられる仕上がりになります。

てくるので、練りエサの「くわせ練りエサ・チヌ」を底に這わせて釣ることも多くなつてきます。ですから「チヌパワーG2」の代わりに、「練りエサ釣法チヌ」を使ってもいいかもしれませぬ。これはエサ取り対策用の粒、集魚力を増強する粒、チヌの食いを高める粒、オキアミと同様の効果を持たせる粒からなっている配合エサ。もともとはこれ単品で、付けエサに「くわせ練りエサ・チヌ」を使うとき用に開発されたものですので、相性のよさは折り紙付きです。

夏のブレンドパターン(一日分)



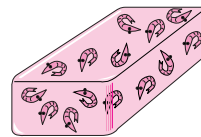
練りエサ釣法チヌ
2袋

+



チヌパワームギ
2袋

+



オキアミ
9~12kg

水温の下がる冬はチヌの活性も低い
ですから、集魚力に重点をおいたブレ
ンドがよいでしょう。「チヌパワースペ
シャルMP」2袋、「チヌパワームギ」
2袋、それにオキアミ9kgという組み
合わせがおすすめです。

「チヌパワースペシャルMP」は、M
P(マキシマムプロテイン)酵母とい
う高タンパク素材をたっぷり含んだ
マルキユウのチヌ用配合エサの中で
も集魚力の強い配合エサ。さなぎ
ムギ、カキガラ、魚粉などの集魚成分
も大量に入ってる、寄せることにこ
だわったアイテムですね。それなりの重
さもあるので、深ダナの釣りにも対応
してくれます。

なお、水温が低すぎて、どうしよう
もないほど食いが悪いときは、「ニユー
活さなぎミンチ」を加えることもあり
ます。さなぎはもともと強烈な集魚効
果があるんですが、このエサは、中
でも極めて良質なものをミンチ状に
加工して急速冷凍してある。だから鮮
度が抜群で、生のさなぎと同レベルの
においをキープしているんです。厳寒
期だけではなく、ほかの季節でも、急
激に水温が低下してしまったときには
使いたいエサですね。

付けエサ

付けエサは、私は「くわせオキアミ
スーパーハード」がお気に入り。食
いが抜群によく、ハードタイプなのでエ
サ持ちが断然いい。エサ取りが多いよ
うな場面でも充分に活躍してくれます
し、深ダナを狙う場合や遠投時でも安
心です。食い込み重視なら、「くわせオ
キアミスペシャル」もいいですね。

オキアミが取られるようであれば、
「くわせ練りエサ・チヌ」を使います。
練りエサですからエサ取りには強い
ですし、アミエビとニンニクの成分がた
っぷり入っているのので、食いのよさ
も魅力。冬をのぞくすべてのシーズン、
特に夏場には重宝すると思います。

■ 必携していたい 調整用配合エサ

シーズンを問わず、調整用配合エサ
は必ず用意しておきたいですね。マル
キユウからは「フツ飛び」と「パワ
レスキユウ」の2つが発売されていま
す。

「フツ飛び」は、マキエの遠投性を高
めることに焦点を絞った調整用配合工
サ。使っているマキエに加えるだけで、
遠投性能がグンとアップします。ポイ
ントが遠いときや強風時に使いたいア
イテムですね。特殊な軽い成分を配合

しているのので、着水後の拡散性が損な
われないのが嬉しいところですよ。

「パワレスキユウ」は、突然の雨や
波でバツカンの中のマキエがビチャビ
チャになってしまったときに使います。
適量を加えるだけで格段にまとまりが
よくなるので、操作性が大幅に向上し
ますね。もちろん風が強いときなどに
も威力を発揮します。

なお、これは調整用配合エサではな
いのですが、量を多く使いたいとい
う人には、「チヌ増」をプラスすること
をお勧めします。これは非常に増量効果
の高いペレットが入っている配合エサ
で、海水を加えて混ぜると、約4倍強
にも増量するんです。もちろん基本性
能は備えているので、単品で使っても
OKです。

■ エサ取りが多いときの 高岡流テクニク

少し話が変わりますが、ここで潮が
動かずに海がベタツとしていた状態
で、エサ取りが湧いてしまったときの
私の対処法を紹介してみよう。

こういったときは私は、自分が立って
いる釣座の先10mぐらいのところ
を引くと仮定するんです。べつにそれ
が15mでも20mでもいいんですが、
とにかくある程度沖にラインを設定し、
まずその内側だけにエサ取りを集め

冬のブレンドパターン(一日分)



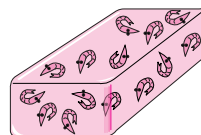
チヌパワースペシャルMP
2袋

+



チヌパワームギ
2袋

+



オキアミ
9kg

やり取りは、チヌ釣りのなかでもっともエキサイトする場面。取り込むまでは気が抜けません。



す。そして、しばらくしてから、エサ
取りのいないラインの向こう側に仕掛
けを投入するんです。そうしてからリ
ールを巻くなり竿を立てるなりして、
エサ取りが集まっているであろうギリ
ギリのところまで仕掛けを寄せ、そこ
でスーッと入れていく。
なぜこいついっことをするかといっ

チヌはエサ取りがないときは、そこ
らへんでウロウロしています。ですが、
エサ取りが群がっているときは一歩引
いたような形で、その群れを取り巻い
ていることが多いですね。ですから、
付けエサが残るか残らないかというギ
リギリのところを集中的に狙うと、比
較的高い確率でチヌが釣れてくるとい
うわけなんです。もちろんエサ取りを
散らして突っ込んでくることもあるん
ですが、私の経験からいえば、その割
合はさほど高くないと思います。ぜひ
一度、試していただきたいテクニク
ですね。



チヌの習性を知ること、釣果を得るための大切な要素。
ただ竿を出すのではなく、常に研究心をもつことも心がけましょう。

マルキューグッズ はみだし情報・3

パワーバクカンシリーズ

使いやすさにこだわって開発された
バクカン、「パワーバクカン」シ
リーズ。ミラーコート加工を施したハ
ードタイプは、エサがこびり付きに
くく、使い勝手が抜群。軽量設計の
ソフトタイプも含め、計7アイテム
のラインアップです。



写真はパワーバクカンハードグリップnタイプの40G (40cm)